

(様式3)

令和5年度 しまねの公民館次世代参画支援事業 実績報告書

市町村名	安来市	公民館等の名称	島田交流センター
------	-----	---------	----------

事業の目的	多世代の交流が出来る場づくりをすることで、より住民の地域活動への参画促進を計る。
事業の内容	○ターゲットとする世代 小学生～70代(小学生～保護者・団塊世代) ○地域の状況やターゲットとした理由 小学校が終わると交流センターや地区の行事に参加することが少なくなる傾向にあり、地域活動への興味関心も薄れてきている。今後、地域を盛り上げ新しい活動を行う事と学校支援への新たな参加者確保の為、島田地区の小学生や保護者世代と島田地区の学校支援を担っている団塊世代の方との交流を行う場づくりが必要と感じ、今回のターゲットとした。
	○事業の内容(日時、場所、参加者数、具体的な活動)を具体的にご記載ください。 7月15日 場所:島田交流センター交通公園 参加人数13名 「バーベキューコンロ作成」 今まで話したことがない人とも交流が出来る場所を作る為、各種団体の方々と保護者世代と一緒に作成した。協力して作成し完成する事でみんなで達成感を味わい仲間意識が強まった。今回の活動でお互いに協力して地域を盛り上げるイベントを企画しようという話しも出来、地域活動への参画促進にも繋がった。
	10月14日 場所:島田交流センター交通公園 5人 「防災食を作ってみる」 防災課より賞味期限が近い防災食を提供してもらい、実際に災害が起きたことを想定しバーベキューコンロで寸胴鍋にお湯を沸かし調理、試食した。参加人数は少なかったが参加したメンバーから「文化祭で地域の方々にも防災食を試食してもらい、地域防災について興味関心を持ってもらう」という意見がでたので文化祭で試食コーナーを出店することになった。  11月5日 場所:島田交流センター交通公園 9人 「防災食試食コーナー」 文化祭にバーベキューコンロのお披露目も兼ね防災食試食コーナーを出店した。また、防災への関心を深めてもらう為に、災害が起こった時に必要な防災グッズも合わせて展示をした。初めて食べた人は「思ったより美味しいし普通のご飯と変わらないね」、「防災食を食べることなんてないからね。こんなにカロリーが高いとは!」という声があった。 災害が怒らないとなかなか食べてみる経験がないが、今回、地域住民約240名の方が試食し少しでも「もし自分の身近でも災害が起こったら!」を実感してもらえたことで、地域防災への意識、関心を深めることができたのではないかと思います。

<p>成果と課題 今後の見通し</p>	<p>○期待する成果・効果</p> <p>○初めは公民館活動に関わり楽しさを感じてもらい参加した方が地域でやってみたいことを気軽に共有し、今後の交流センターの事業や活動への参加、参画を促したい。</p> <p>○新しいコミュニケーションの場をつくることで、交流センターへ足を運んだり利用する人が増える。</p> <p>○保護者世代と団塊世代の橋渡しをすることで次世代育成へ繋がり、防災意識を高め親子で防災を考える事業を新たに行い地域活性化へ繋げる。</p>
	<p>○計画書に記載された「期待する成果・効果」をふり返って見られた成果や課題、次年度以降の見直しなどをご記載ください。</p> <p>今回、各種団体の方々と保護者世代が「今まで顔は見たことがあるが話をしたことがない」という状況から、交流し合える場としてバーベキューコンロを作るという活動を通して相談・協力し、皆で完成を祝い、お互いにお互いを知ることができ、仲間意識が芽生えた。</p> <p>また、文化祭でも作成メンバーで防災食試食コーナーを出店し、地域活動参加への意識醸成も図れた。その後も島田地区の2団体がバーベキューコンロを利用した交流活動を行い、気軽に交流センターを利用する機会に繋がった。しかしながら今回活動に参加した人は、ごく一部のひとにとどまり、今まで交流センターの活動へ参加した事がない、子どもや保護者世代を巻き込んでいくことが課題とあげられる。今後もバーベキューコンロを利用して様々な世代が交流できる取り組みをみんなで考え、交流センターに来ると楽しいという気持ちをもってもらえるように、引き続き地域住民に働きかけていきたい。</p>



バーベキューコンロ作成の様子



10月14日の様子



11月5日の様子

